

湖西市都市計画マスタープラン 第2回策定懇話会 概要

1 開催日時

令和5年10月5日（木）13時30分～15時00分

2 開催場所

湖西市民活動センター大会議室

3 出席者

	氏名	所属	出欠	備考
会長	浅野 純一郎	豊橋技術科学大学	○	
委員	袴田 勝彦	湖西市商工会	○	
	片山 雅博	新居町商工会	×	
	森 宜雄	湖西市社会福祉協議会	○	
	池田 雅美	湖西市農業委員会	○	
	長田 晴康	湖西・新居観光協会	×	
	兼堀 美奈子	湖西市地域防災指導員連絡会	○	
	板倉 福男	湖西市自治会連合会	×	
	中尾 有希子	静岡県建築士会	○	
	佐原 卓治	静岡県司法書士会	○	

（事務局：勾坂課長、杉山課長代理、山下主査、榊原主任）

（事務補助：東京建設コンサルタント 平井、前田）

4 議事次第

4-1. 開会

4-2. あいさつ

4-3. 委嘱状公布（新規メンバー）

4-4. 資料説明

（1）第1回懇話会の振り返り

（2）都市計画マスタープラン全体構想（改定素案）の方向性

- ・都市づくりの課題
- ・全体構想

（3）今後の予定

4-5. その他

4-6. 閉会

5 配布資料

①次第（※）

- ②委員名簿
- ③席次図
- ④第1回懇話会議事概要
- ⑤湖西市都市計画マスタープラン全体構想（改定素案）説明資料（※）
- ⑥策定懇話会の進め方

※は事前送付

6 協議結果

6-1. 開会

6-2. あいさつ

事務局（匂坂課長）：皆様、本日はお忙しい中、「湖西市都市計画マスタープラン策定懇話会」にご出席いただき感謝する。

昨年度から進めているマスタープラン~~感謝する~~の改定作業も2年目を迎えた。昨年12月に開催した第1回懇話会以降少し時間が空いてしまったが、庁内関係部局から、土地利用や施設配置等に関する情報収集や調整等の作業を進めていた。

また、この間、国の社会資本整備審議会都市計画基本問題小委員会の中間取りまとめ「多様な価値観や社会の変化を包摂するまちづくりを目指して」が公表されるなどの動きもあった。

これらを踏まえ、今回の懇話会では、マスタープランのうち、全体構想の骨子（案）を示し、皆様から意見・感想をいただき、今後の改定作業の参考にさせていただきたいと考えている。

湖西市都市計画マスタープランは、今後二十年間の都市づくりの目指すべき方向性を示す計画となるので、委員の皆様の積極的な発言をお願いして、ご挨拶とさせていただきます。~~＝~~

6-3. 委嘱状公布

事務局（杉山代理）：今回より新たに、観光協会会長の永田晴康様に、委員を引き受けていただいた。本来であれば、この場で委嘱状を交付させていただき、一言ご挨拶を頂く予定だったが、欠席の連絡を頂いていた。

6-4. 資料説明

（1）第1回懇話会の振り返り

事務局（山下主査）：配付資料④を用いて説明。

各委員：特になし。

（2）都市計画マスタープラン全体構想（改訂素案）の方向性

事務局（東建）：配付資料⑤を用いて説明。

1) 都市づくりの課題について

浅野会長：P3 課題を列挙している所で「・（ナカポツ）」をあまり使わない方が良い。例えば②については「暮らし方・働き方」ではなく「暮らし方や働き方」が良い。

浅野会長：P3②で「多様化を許容するまちづくり」という表現があるがもっと能動的な表

現が良いのではないか。

浅野会長：P7「レジリエント」は専門的な用語すぎるし、~~また~~解釈も多様なので別の表現が良いのではないか。使うと~~するならしても~~湖西市としての解釈を加えるべき。
~~また、「職住近接」も意図を明確にすべき。~~

森委員：P4「子育て世代や高齢者にも暮らしやすいまちづくり」とあるが「すべての人にとって～」とした方が良い。

2) 全体構想（理念～都市構造）について

浅野会長：他の都市では人口フレーム、産業フレームなどを最初に分析して、数字を根拠にして方針を立案している所が多いが、湖西市では入れないのか。

→湖西市：~~改定前のマスタープランでは入っていない。~~なお、県の策定する都市計画区域マスタープランでは~~人口フレーム~~について整理を行っている。~~がある。~~市のマスタープランも同じようにフレームについて記載するかは議論したい。なお、湖西市の総合計画では人口~~減少~~を抑制する目標を入れている。

→浅野会長：それらと整合させ、土地利用と関連させる書き方が必要である。~~る必要がある。~~人口フレームからは市街地の拡大はできないが、マスタープランと行政計画は異なるので、将来的な土地利用を見据え産業フレームは整理すべきではないか。~~産業フレームが大切になってくる。~~

浅野会長：p14 将来都市像の「豊かな自然と歴史が育んだ都市 湖西」とあるが、「育んだ」では、既に豊かなものがあると読めるので、これからの施策で新しい都市像をつくっていくという能動的な表現とすべき。~~目標像としての表現をするべき。~~

3) 全体構想（各種方針）について

中尾委員：新居町で空き家の話を聞く。古民家をリノベーションしたカフェなどもあるが、~~空き家によって地域の環境や衛生、安全が脅かされる空き家の~~問題はあまり知られていない。相談できるところがあると良い。

→湖西市：プロジェクトチームを今年作って、~~空き家の活用に向けての視点を取り入れ、~~基本計画を策定している。~~する。~~今の所、壊れそうな場合や、害虫が発生している場合など危険への対策しかできておらず、~~全般的な対応ができる体制づくりを進めている。~~~~相談できる体制にはない。~~

→浅野会長：今後、~~空き家は加速度的に増えていくので、空き家バンクを回すなどして、~~~~空き地・空き家の活用を進めていくべき。~~~~を検討すべき。~~

池田委員：新居町の文化公園や知波田親水公園は、~~にボランティアで運営されている人気の公園があり~~豊橋からも人が来る人気の公園となっている。~~来ている。~~現在は、ボランティアが管理をしているが、こうした公園を広げていけばよいのではないか。~~若い人を取り込んでこのような取り組みを広げてはどうか。~~農業委員としての立場から発言すると、遊休農地が増えているという問題がある。農地貸借のマッチングを行う農地バンクの取り組みを行っているが、小規模な農地や立地の悪い農地はなかなか借り~~手~~が見つからない。広い農地にして珍し

いものが出来れば、農業をやる人も出てくるのではないかと。横山にはバナナ園やカフェもできている。こうしたものが若い人を取り込んでいくと思う。

森委員：インターチェンジがどこにできるかはわからないが、目の前が浜名湖なので利用しない手はない。ハマイチ関連で土地利用を考えても良いのではないかと。~~の起点にして湖を1周するようなことを考えても良い。地域の産物でスイーツをつくったり、キャンプ場などを整備することで、集客を見込めるのではないかと。のも良いと思う。~~

→浅野会長：インターチェンジ周辺の土地利用については~~あいまいであっても~~、方針を示すことによって影響が大きい。

袴田委員：湖西市には浜名湖、湖西連峰など魅力が十分にある。浜名湖をサイクリングで1周できると良いが途切れ途切れである。少子高齢化を逆手にとって、温暖な地域であることを活かして老人ホームなどを誘致~~するなどして~~、余生を~~過ごす~~~~おごす~~楽園としてアピールしても良い。

中尾委員：第一回目の懇話会で昼間人口が多く、夜間は市外で暮らす人が多いという話があった。湖西市は市街化調整区域が多く、家を建てられる土地が見つからないと聞いた。湖西市にとどまってもらうためには、都市計画の見直しも必要ではないか。

佐原委員：空き家・**空き地**の問題は所有者がわからないと進まない。湖西市は地籍調査が3割程度しか進んでいないことが課題である。

兼堀委員：防災指導員をしているが、湖西市の市民は防災への関心が薄いと感じる。小さくても山も海もある地域なので災害の可能性がある。企業や店舗、市民の防災意識を高める必要がある。また市も防災倉庫の整備などを考えて欲しい。

浅野会長：ややインフラ整備に偏っているように感じる。湖西市は豊かな緑があるので、グリーンインフラについてももう少し書き込んでもよいのではないかと。また、福祉・高齢化などにももう少し書き込んだらよい。「医療・健康のまちづくり」など。

(3) 今後の予定

事務局（山下主査）：次回は11月24日14:30から開催する。事前に報告書の案をお送りする。

6-5. その他

事務局（山下主査）：後日意見等があれば、電話、FAXなど手段は問わないので11月上旬までに都市計画課までお願いする。

6-6. 閉会

進行（杉山代理）：以上で本日の日程を終了する。

以上